



### 第13話 悩んだ分、いい議論

11月議会で、子宮頸がん予防について質問しました。これは知事が熱い思いで進めようとしているワクチン接種に、水を差すような質問になるので、その分いろいろ考え悩み、勉強もしました。議場では、普段の格式ばった答弁ではな

く、知事と本音でしっかり議論することができました。同僚の議員さんからも、「要望を伝えてyesかnoかという質問ではなく、違う考えの立場から一つの目的のために議論を深めていて良かった」と言ってもらい、嬉しかったです。

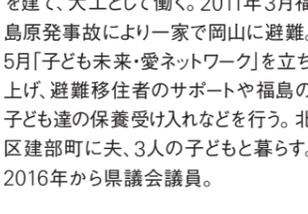
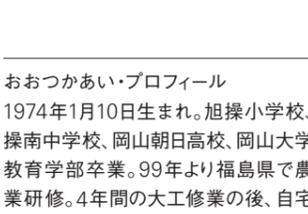
今年もよろしく  
お願いします。

3人(中学2年・小学4年・5歳)の子ども達も大きくなってきました。今年は健康維持のため、数十年ぶりのテニスを子ども達と時々したいなと思います。



### 議場に新鮮な風が吹く

イラスト:森シホカ



### 大塚愛 いっぽ通信

岡山県議会議員  
大塚愛 県政レポート [第13号]  
発行: 2020年1月(2019年11月議会報告)

最新情報を発信しています

- Facebook:
  - ・みどり岡山  
www.facebook.com/greenokayama
  - ・大塚愛  
www.facebook.com/ohtsuka.ai.3
- みどり岡山ホームページ:  
http://midori-okayama.org



# いっぽ通信

## P.02-03 子宮頸がん予防のよりよい方法は?

- P.01 中学生や高校生×地域の課題=未来をつくる力
- P.02-03 おもな活動記録から「空き家の活用を考える/河川の木を伐る」
- P.04 愛ちゃんがゆく! 一県議体験記 一/日々のうごき(2019年10月~2020年1月)



みなさま、こんにちは。  
新しい年が、平和で災害の少ない年としていけるよう、お祈りいたします。

私は最近、中学生や高校生に関わる活動が増えてきました。

建部中学校には「たけべ部」という部活ができ、中学生有志が地域に関わる活動を始めています。昨秋には、文化祭のマルシェ出店にチャレンジし、カレー屋を出しました。男子生徒は地元産の野菜を切って準備し、女子は店の看板づくりを担当。ドキドキして迎えた当日は、120食が完売し、多くの人から「美味しかったよ!」と声をかけてもらいました。まわりの大人たちのサポートがあれば、中学生は地域の場でグンと力を発揮できるんだと感じました。



たけべ部では、年末に建部駅の掃除もしています

また12月には、岡山県高校生議会が開催されました。定員を超える応募があり、県内20校から127名の高校生が議場に集まり、様々なテーマについて真剣な質疑が行われました。普段の県議会の女性比率は15%なのに、高



マイプロジェクト中四国サミット。高校生シェフが活躍する津山東高の「シノメキッチン」など、魅力的なプロジェクトがいっぱいでした。

校生議員は80%が女性。一番前にある議長席に女子生徒が座った姿も新鮮でしたし、岡山支援学校の生徒さんが障がい当事者として、バリアフリーなどを求める発言は大変重みを感じるものでした。

地域や社会のことを「ジブンゴト」として捉え、関わる人が増えることが、次の時代を築く力になると確信し、今後も取り組んでいきたいと思っています。

### 日々のうごき

2019年10月~  
2020年1月~

10.18 てんのうさま祭り@建部町和田南、竹枝を思う会



10.19 workers上映会、四つ手網@九幡  
10.20 御津将棋大会、加茂大祭



10.21 吉田ダムの勉強会  
10.23 鮎の産卵場整備作業@旭川



10.24 給食の有機食材のお話、「福島いのちの電話」三瓶さんと懇談、外国人相談センター視察

10.25 いっぱプラス収録、街路樹視察、HPVワクチン被害者弁護団との懇談

10.26 旭川源流の碑@久米南→建部  
10.27 秋祭り@福渡八幡宮、御津産廃阻止同盟緊急集会、大和公民館文化祭、吉川八幡宮当番祭

10.28.29 加茂川ホリデイフォレスト



10.30 特別委員会県内調査@矢掛・和気  
10.31 みどり岡山会議、たけべ部

11.1 食品ロスを考える会、市民・地域共同発電所全国フォーラム(~11.2)

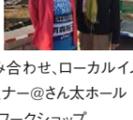


11.3 御津しまいフェスタ、円城公民館文

11.4 化祭、かいばり調査@建部町竹枝

11.5 ジブンゴト学会@岡山大学  
11.10 焼きいもをしよう会@竹枝小

11.10 岡山マラソン、豊野・納地公民館文化祭、マツリゴトcafé@玉野



11.11 代表質問読み合わせ、ローカルイノベーションセミナー@さん太ホール

11.12 菅原直樹さんワークショップ@建部老人福祉センター

11.15 DV防止啓発の申し入れ、常任委員会(環境文化保健福祉)、シェルターモモ訪問、夜間中学校の意見交換会

11.16 吉備中央町福祉祭り、文化祭マルシェ準備



11.17 建部町文化祭&たけべマルシェ出店

11.18 DV防止啓発バザー@岡山市役所、[3・11への祈り]実行委員会

11.19 県政・市政おはなし会&SDGs勉強会@大元公民館

11.20 乳児院窓掃除@ぐるーん、勉強会@新エネルギー温暖化対策室、現代eco art祭

11.21 常任委員会、インターン打ち合わせ、立憲自治の会世話人会

11.22 特別委員会(総合計画・行政改革)、15th結婚記念日

11.24 「人・自然・きずな」発足式@吉備中央町豊岡、さよなら原発1000万人アクション総会・講演会

11.26 知事+会派懇親会



11.28 11月議会開会、生協懇談会、野球部反省会

11月議会一般質問  
(2019年12月12日)

# 「子宮頸がん予防のよりよい方法は？」など質問しました

## 建築物の省エネ化

**Q.** 岡山県の地球温暖化防止計画では、温室効果ガスを17.7% (2013~2030年度)削減する目標にしている。その中で、家庭・業務部門では約4割の削減を目指しているが、どのように進めるのか。

**A[環境文化部長].** 窓の断熱リフォームや高効率給湯器など、家庭の省エネ設備の導入を支援し、事業者への省エネサポート相談を進めていく。

**Q.** 環境エネルギー政策が進んでいる長野県では、省エネに配慮した新築住宅やリフォームを紹介した事例集を作成しており、その中には室内温度が10度以上高くなり、年間光熱費を10万円以上減らせたリフォーム事例も紹介されている。(右図参照)



省エネ化は、光熱費の削減、ヒートショック防止、お金の地域内循環(輸入燃料に支払っていたお金を、省エネ工事により地域の事業者にもわらせる)など、さまざまな効果がある。また、改定建築物省エネ法により、2021年度から300㎡未満の新築住宅について、省エネ基準に適合しているかどうか建築士が説明をする義務が課せられる。これらの動きにあわせて、県内の建築事業者への制度の周知や、省エネ技術力の向上が必要だが、どのように取り組むのか。

**A[土木部長].** 建築関係団体と連携して、講習会を開催するとともに、省エネ技術の相

## 子宮頸がん予防

**Q.** 子宮頸がんはHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染が原因で、近年若い世代に増加傾向にあり、その予防は重要なことだが、よりよい方策について質問したい。

県は子宮頸がん予防についてのリーフレットと動画(Vtuber)を作成しているが、そこでは重篤な副反応のリスクについて十分に説明されていないが、どのように考えるのか。また、これまで報告された県内の副反応の疑いの事例や支援の状況はどうか。

**A[知事].** リーフレットは専門家の意見を伺

談窓口を設置するなど、建築事業者を支援していく。

**Q.** 省エネ改修工事は、耐震改修の際にあわせて行うのが効果的なので、参考となる省エネリフォーム例や活用できる補助制度などの情報提供を行ってほしい。

**A[土木部長].** 耐震改修について出前講座やパンフレットなどで啓発を行っているので、その機会に省エネリフォームの情報提供も行っていきたい。

い、適正な情報を盛り込んでいると考える。昨年度までの県内のワクチン接種者は約69,000人で、接種後の副反応疑いは22人、うち3人が重篤とされる。現在も診療中の方が7人で、公的支援を受けた事例はない。

**Q.** 県内の学校では配布を見合わせる学校や、「教員として配布することに責任を感じる」という声もあった。適切な情報と言うが、ワクチン接種を勧める意味合いが濃く出ている。

**A[知事].** 年間2,900人の女性が命を落としている子宮頸がんのことをまずは知って、予防法を考えてほしいという意図で作った。自

分はワクチンの有効性を信じており、そのため偏りが出ているとしたら申し訳ないと思うが、かなり公平に作ったつもりだ。

**Q.** 接種後に全身の痛みや運動障害など、重篤な症状に苦しんでいる人がいて、実際に今も症状に苦しんでいる方にもお話を伺った。そのような方への支援をあわせて考えるべきだと思うが。

**A[知事].** それらの症状とワクチンの因果関係は証明されていないが、否定することもできない。副反応の被害に苦しむ人の支援こそ、県や国がするべきだと思う。

**Q.** 子宮頸がんの予防については、HPV感染のリスク、ワクチンの副反応のリスク、検診だけで予防する場合のリスクなど、それぞれが考えて選んでいけるこ



知事のとても熱い答弁に、負けずに被害者支援と併用検診を訴えました

とが大事だと思う。そして、ワクチンの副反応が心配な方にとっては、20歳から検診を定期的に受けていくことで予防できるが、検診の精度を高めるためにはHPV検査とあわせた併用検診(ほぼ100%の発見精度で、ガン化する前の異常を発見できる)がよい。すでに全国で197の自治体で導入されており、併用

検診の方が費用負担も少なくなると言われている。(どちらもマイナス反応の場合は、検診期間を延ばせる為)  
**A[知事].** 併用検診については、県内2市町(里庄・総社)で実施している。現在、国で有効性や実施体制の検討を行っているところだが、今後も前向きに検討していきたい。

## 公立夜間学級について

**Q.** 県では岡山市と2度目のニーズ調査を行ったが、何件の回答があったのか。また、調査研究委員会ではどのような点を協議するのか。

**A[教育長].** 今回は約350件の回答があり、今後はどこにどのくらいのニーズがあるのか分析しながら、設置の是非を含め方向性を

協議していき、各教育委員会間の意見調整も図っていく。

**Q.** 岡山県内での設置を検討していくには、すでに活動に取り組んでいる民間組織と協働することで、岡山の特性を活かした在り方を考えられると思うが。

**A[教育長].** 今後設置に向けた検討を始めることになれば、幅広いニーズに対応するために、NPOや民間支援団体などから意見を聞くことも考えていきたい。

## 空き家活用の意見交換会

@建部町公民館(12月16日)  
共催:たけおこし・建部町観光協会・子ども未来愛ネットワーク

**地**域の人の「空き家や少子化を何とかできないか」という悩みと、移住希望者の「家を探しているが、なかなか情報がない」という声を解決していきたいと考え、空き家活用に関心がある方や、古民家活

用で民泊などを始めている方、不動産業者さんなどに集まっていたいただき、意見交換会をしました。各地区の現状を話したり、相続の課題をどうするかという点や、地域づくりや受け入れる側の意識もあわせて考えていかなければという視点など、貴重な話し合いをすることができました。今後はまず各地区の空き家調査を行ったり、有志で空き家マップを作ってみようということになりました。関心のある方はご参加ください。

## おもな「活動記録」から



地域で知恵を出しあって、頑張っていくぞー!

## 公募型樹木伐採

@御津新庄川(12月24日)

**県**内7か所で指定したエリアで、自由に木を伐採して持ち帰ることができる公募型の伐採が募集されています。その中で御津の新庄川については、若者育成の団体「ティーンチャレンジジャパン」(御

津矢原)が「地域の防災のために伐採しよう」と手を挙げて下さり、私もクリスマスイブの日にチェーンソーや鉋を持って参加しました。河川に生えた木は流れの阻害や景観の悪化になっていますが、一本一本片付けていくたびに綺麗になっていく感じがして、やりがいのある作業でした。切りだした木は、10cm以上の太い幹はチップ業者に売り、それより細い枝は畑で燃やすとことで、細めの幹は我が家の薪(風呂焚き&薪

ストーブ)にいただきました。県内の公募型伐採については、3月末まで募集中です。薪やキノコの原木などに活用したい方は、県のHPをご覧くださいの上、河川課までお問合せを。

